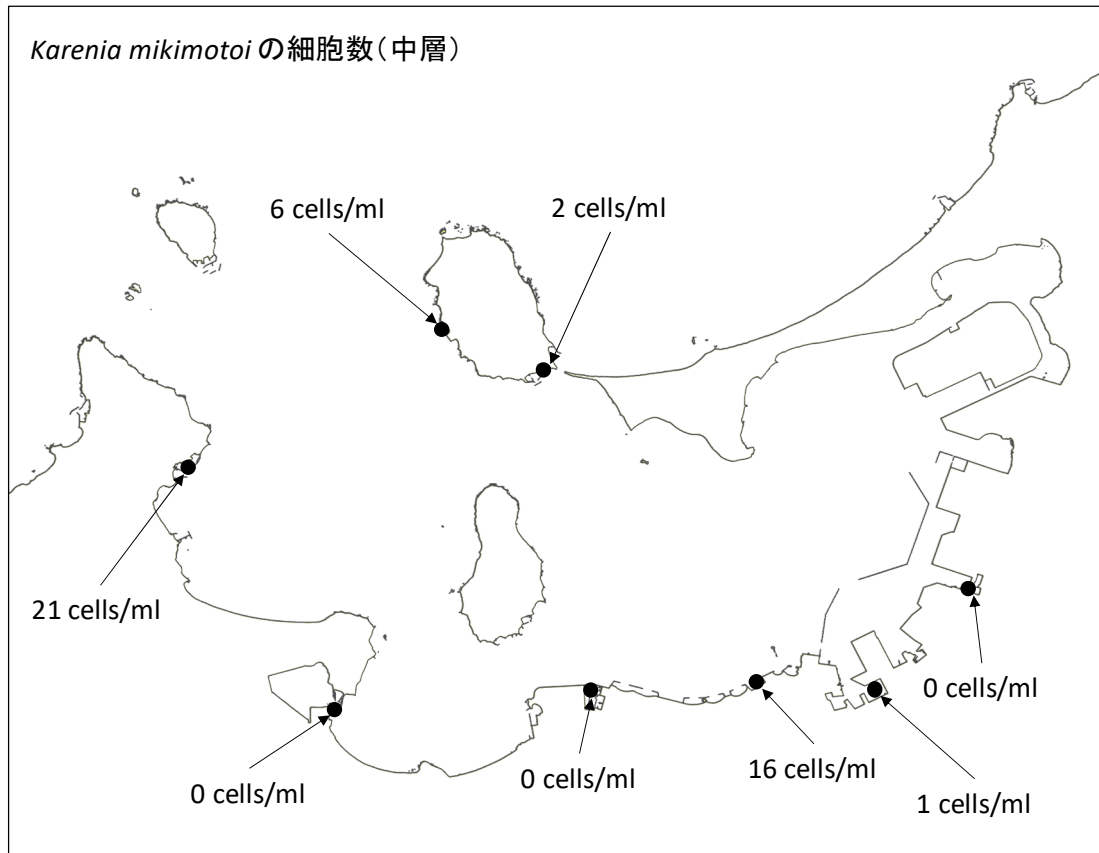


有害プランクトン情報（第7報）

令和8年6月22日
福岡県水産海洋技術センター
漁業環境課

○プランクトンの状況

- ・6月22日に博多湾でプランクトン調査を行った結果、カレニアミキモトイ（海水1mLあたり最大21細胞）が確認されました（下図）。
- ・カレニアミキモトイは魚介類に有害で、海水1mlあたり数千細胞を超すとスズキやタコ等の魚介類がへい死することがあります。特にアワビ等では、より少ない細胞数でもへい死することがあります。



○今後の対応

- ・ 活間等の魚介類の様子に十分に注意して下さい。また、海水の着色が見られた場合は、船倉での活かしや港内での蓄養を避け、陸上水槽への収容や鮮魚出荷に切り替えるなどの対応を取ってください。
- ・センターでは引き続き調査を実施しますので、今後の情報にご注意願います。

※漁業被害、海面の着色などが見られましたら、以下の連絡先までご連絡ください。

連絡先 福岡県水産海洋技術センター
漁業環境課 古賀・江崎・長本
TEL 092-806-0884